

核の大地

TERRES NUCLEAIRES *Une histoire du plutonium*

プルトニウム物語

France

Japan

U.S.A

私たちはなぜ核政策を転換できないのか。

なぜ脱原発に舵を切れないのか。

プルトニウムをめぐる日米仏3国の核の歴史が原子力産業の終わりを物語る——。



六ヶ所村沿岸の海洋放出口から排出された放射性物質は、海域の流れによって移動（移流）しながら拡散し、時間とともに濃度が低下していきます。

流れは、海流の季節変動や潮流や気象などによって複雑に変化するため、日本海洋科学振興財団では、コンピューターシミュレーションによって海の流れを計算し、そこでどのように放射性物質が拡散していくか推定しています。



図1 青森県周辺の海流

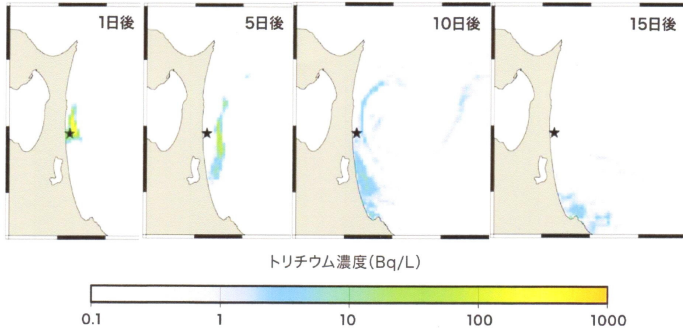


図2 海域のトリチウム濃度の計算例

モニタリングつうしんあおもりNo. 123より抜粋

図1は、青森県が日本海洋科学振興財団に委託し、海洋における放射性物質の動きを再現・予測するシミュレーションシステムによる計算例です。沿岸流は、三沢市、おいらせ町、八戸市、階上町と流れ、三沢沖を流れます。海は繋がっています。

図2は、海域のトリチウム濃度の計算例ですが、自由水として含まれる水分中の濃度は定量下限値（2 Bq/kg 生）未満としています。有機結合型トリチウムについては触れていません。流される放射能は、トリチウムだけではありません。三沢のホッキ貝、八戸前沖サバを消費者はどう見るのでしょうか。



六ヶ所再処理工場 (2007年撮影)

アメリカ

太平洋側のカナダと国境を接するワシントン州のハンフォードに、第二次世界大戦中に大規模な核施設群が作られた。膨大な量の使用済み核燃料を再処理し、プルトニウムを分離し続けた。そのうちの1発は長崎の空から落とされた。

1987年の全面的生産停止までに約55トンの兵器用プルトニウムが製造された。周辺の大地とコロンビア川は汚染された。

フランス

名作映画「シェルブールの雨傘」で有名になったシェルブール港に、日本が再処理契約を結んだ使用済核燃料が陸揚げされた。

ラ・アーグ再処理工場で分離された核分裂生成物は、海外返還廃棄物のガラス固化体として日本の六ヶ所村に送られた。再処理工場は、放射能を完全に閉じ込める事はできない。日本生まれの放射能が、ラ・アーグの大地を汚した。

日本

六ヶ所再処理工場は本格操業前なのに、約3000トンの使用済核燃料で冷却プールは満杯となり、ウラン試験で生じた高レベル放射性廃棄物は211立方メートルが貯められている。

冷却機能を失えば、東日本を未曾有の人災が襲う。

主な出演者

グレン・シーボーグ(化学者)
 ジャン・マーク・レヴィルブロン(物理学)
 マイクル・シュネイダー
 (エネルギー・コンサルタント)
 小出裕章(原子力工学)
 トム・カーペンター(弁護士)
 アニー・テボモニー(環境社会学)

映画「核の大地」上映会

2022年9月4日(日)

13:15受付 14:00上映開始 上映時間84分

会場:はちふくプラザ根城
 (八戸市総合福祉会館)
 八戸市根城8丁目8-155

上映後に、渡辺謙一監督との
 お話&対話 (zoom) を行います

主催:核燃サイクル阻止 1万人訴訟原告団
 協賛:はちのへ九条の会

入場料

前売券・当日券ともに **大人1名500円**
 高校生以下無料(但し事前予約願います)

チケット 取扱

ラピア
 八戸ポータルミュージアムはっち

予約

右のQRコードにて事前予約し当日支払い。
 または連絡先に連絡願います。



連絡先:TEL&FAX0178-47-2321

八戸市根城9丁目19-9 浅石法律事務所内
 メール:1man-genkoku@mwe.biglobe.ne.jp
 HP:1mangenkoku.org/

事前予約は、このQRコードより願います